

思川開発事業監理協議会・幹事会資料

平成25年 2月15日

独立行政法人 水資源機構

目 次

1 . 平成24年度事業実施概要	1
2 . 平成24年度事業実施概要図	2
3 . 現地状況写真	3
4 . 進捗状況	6
5 . コスト管理	7
6 . 平成25年度予算	12

1 . 平成 2 4 年度事業実施概要

平成24年度予算額

- ・ 約11.7億円 （累計 約820億円 約44%） 累計額は、平成23年度までは精算額、平成24年度は予算額

事業概要

- ・ 付替県道工事、水理調査及び環境調査等を実施した。

主な進捗状況（平成25年1月末現在） 【 】は全体数量

- ・ 用地取得 【 375ha 】 : 累計約369ha、約98%の進捗
- ・ 付替県道 【 6.4km 】 : トンネル、橋梁工事等を実施。累計約4.0km、約63%の進捗
- ・ 県道改良 【 13.1km 】 : 累計約12.4km、約95%の進捗（約12.1km供用済）

コスト増減

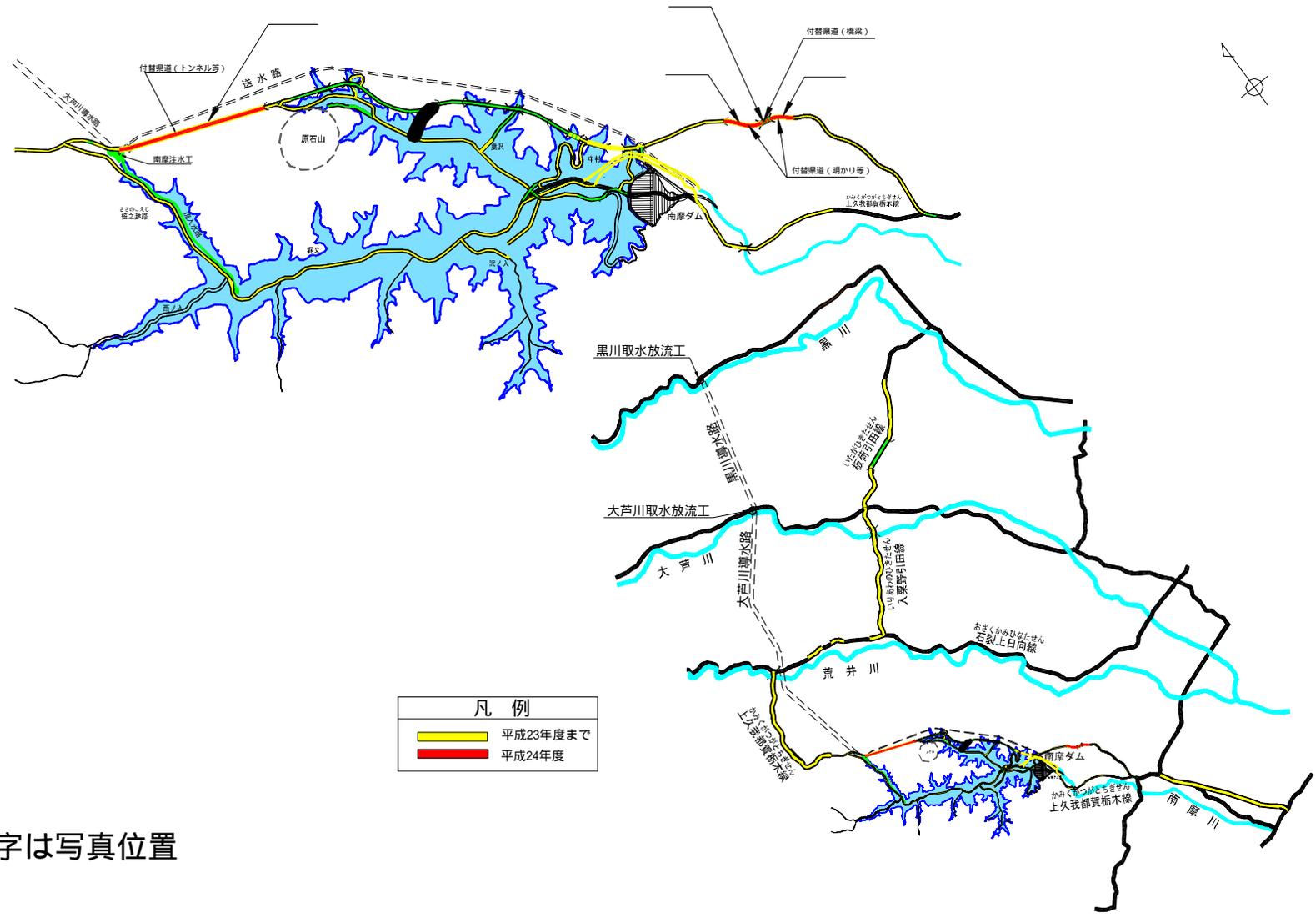
- ・ 平成24年度の事業執行において、付替県道について、計画・設計段階及び施工段階の見直しによる縮減を図った。（約 6百万円）減
- ・ 平成24年度の事業執行において、地質状況に応じた法面保護工の追加によりコストが増加した。（約 6百万円）増

その他

- ・ ダム事業の検証については、平成22年12月20日に設立した「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場」において、平成24年6月29日に第3回幹事会を開催した。

コスト増減額は現時点での見込額であり、今後変更がありうる

2 . 平成 2 4 年度事業実施概要図



数字は写真位置

3 . 現地状況写真

付替県道1号トンネル(完成)

H24.04 上流側坑口



H24.07 上流側坑口



H24.04 下流側坑口



H24.07 下流側坑口



付替県道杓子沢5工区 (完成)

H24.04



H24.08



付替県道杓子沢6工区 (完成)

H24.04



H25.01



付替県道7号橋上部工工事

H25.01



H25.01 桁仮組状況



H25.01 ベント架設基礎掘削状況



H25.01 桁仮組状況



4 . 進捗状況（平成25年1月末現在）

補償基準他	H13.12 損失補償基準に関する協定書調印				
用地取得(南摩ダム) (375ha)	98% (369ha)				
用地取得(導水路) (3.159ha) 区分地上権設定含む	100% (3.159ha)				
家屋移転 (80世帯)	100% (80世帯)				
代替地造成	100% (31世帯)				
付替県道(約6.4km)	62%		63% (4.0km)		
県道改良(約13.1km)	92%			95% (12.4km)	
ダム本体及び関連工事	仮排水路トンネル (H23.3完成)	基礎掘削	ダム本体工	管理設備	試験湛水
導水路、送水路 及び関連工事	黒川取水放流工 大芦川取水放流工	黒川導水路 大芦川導水路	南摩注水工	送水路	南摩機場

完成
契約
付替県道
完成
契約
県道改良

完成：工事が完成した道路延長比（未供用を含む。舗装,付帯設備の未施工を含む）
 契約：工事を契約した道路延長比

5 . コスト管理

(単位：百万円)

項 目	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	合 計
コスト縮減	77	618	207	216	2	6	1,126

(単位：百万円)

項 目	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	合 計
コスト増加	0	0	221	124	77	6	428

(単位：百万円)

項 目	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	合 計
業務執行上の結果 (低入札)	0	580	1,316	91	0	23	2,010

平成24年度コスト増減総括表

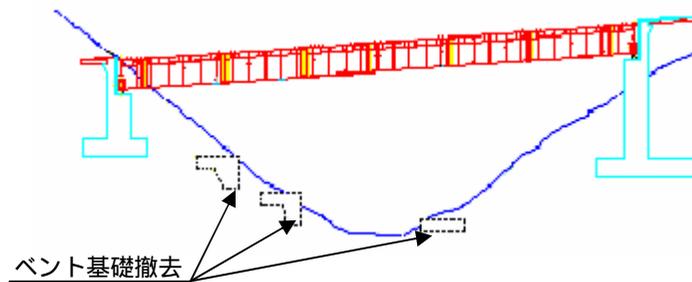
(単位：百万円)

項目	施策内容	縮減額	主な縮減内容	備考
コスト縮減		約 6		
計画・設計段階の見直し		-		
	橋梁架設のベント基礎の存置	約 2	ベント基礎の存置	P . 9
施工段階の見直し				
	地質状況に応じた構造物の見直し	約 4	構造物の見直し	P . 10
その他				
		-		

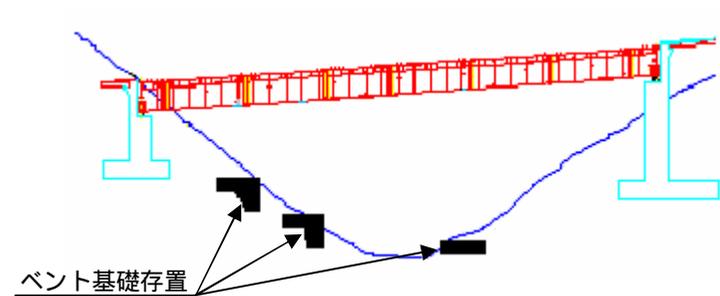
項目	施策内容	増加額	主な増加内容	備考
コスト増加		約 6		
	地質状況に応じた法面保護工の追加	約 6	法面保護工の追加	P . 11

橋梁架設のベント基礎の存置

当初（ベント基礎撤去）



見直し後（ベント基礎存置）



付替県道7号橋上部工工事

【コスト縮減内容】

橋梁工事における架設基礎(ベント基礎)は従来、撤去し原形復旧するものであるが、当該工事においてベント基礎を設置する場所は道路用地内であり、第三者に対する安全性も確保できることから、道路管理者と協議のうえ、ベント基礎を存置する形で、最小限の原形復旧をすることにより撤去費用を縮減することができた。

【コスト縮減の要因】

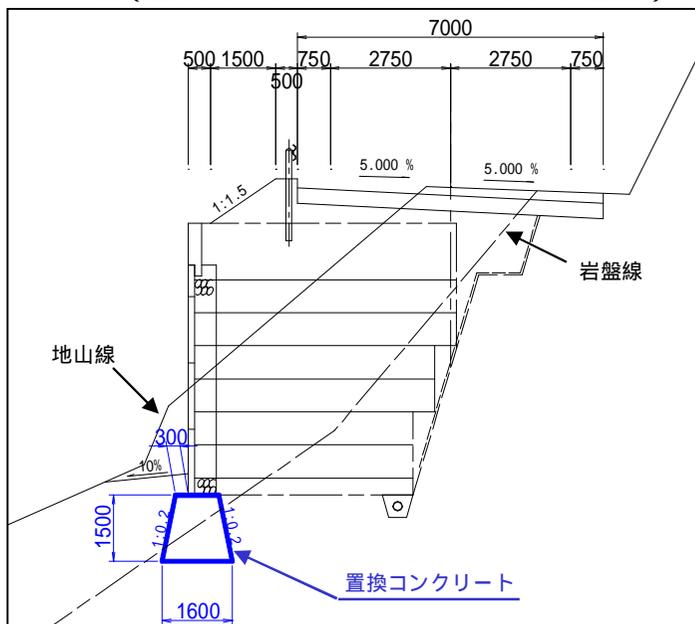
計画・設計段階の見直し

【縮減額】 約2百万円 対象費目 [用地費及補償費：補償工事費]

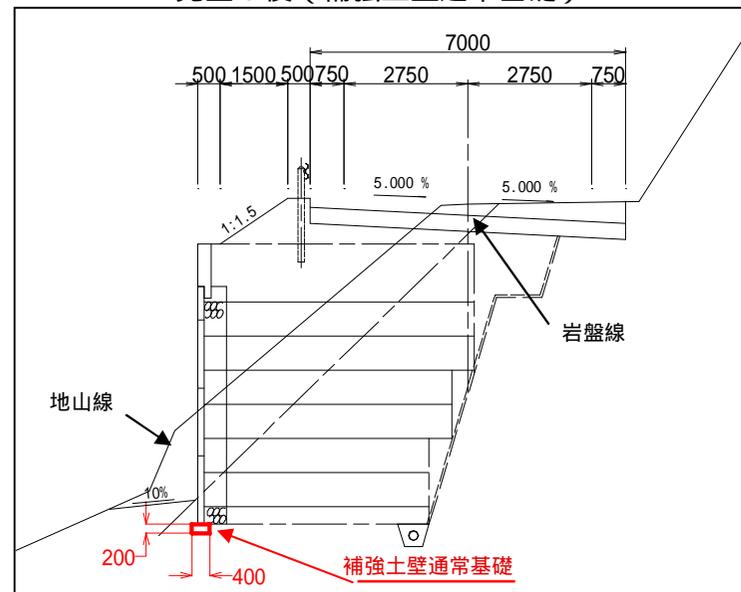
縮減額は現時点での見込額であり、今後変更がありうる

地質状況に応じた構造物の見直し

当初（置換コンクリートによるフーチング基礎）



見直し後（補強土壁通常基礎）



付替県道杓子沢6工区工事

【コスト縮減内容】

付替県道の補強土壁工において、置換コンクリートによるフーチング基礎を計画していたが、床堀後、想定より岩盤線が浅かったことから、通常基礎とすることでコンクリート打設量を低減させることにより工事費を縮減することができた。

【コスト縮減の要因】

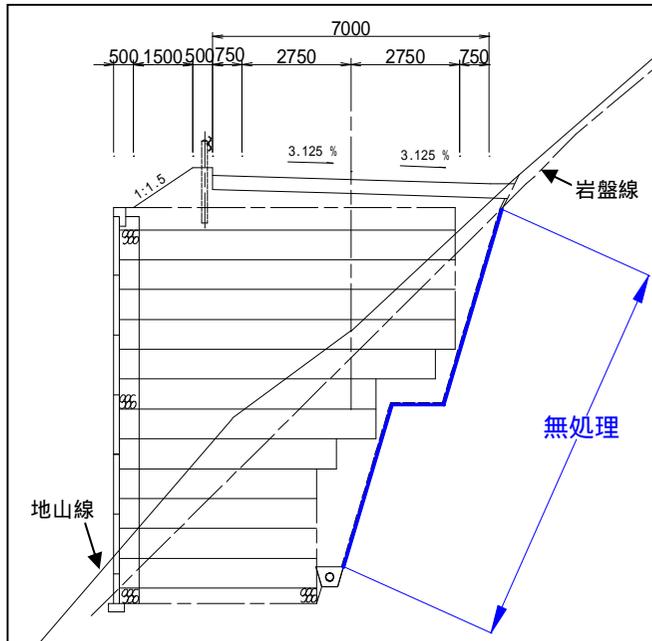
施工段階の見直し

【縮減額】 約4百万円 対象費目 [用地費及補償費：補償工事費]

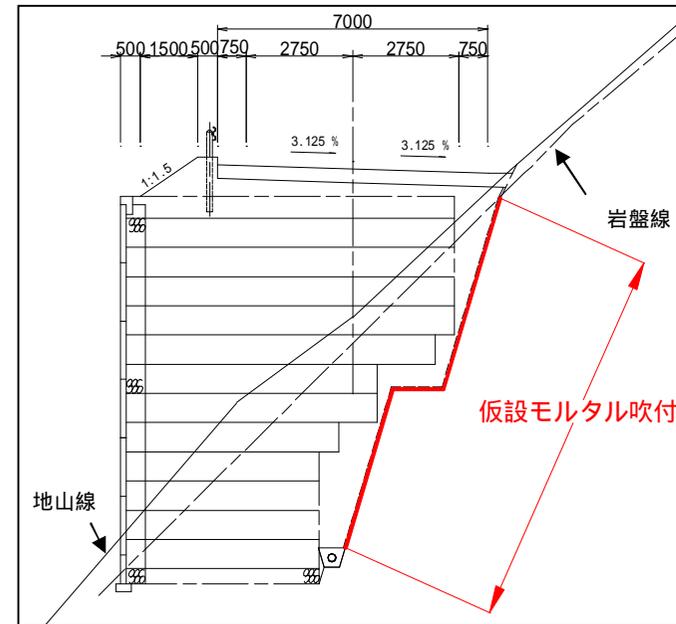
コスト増加

地質状況に応じた法面保護工の追加

当初（法面保護の無処理）



見直し後（法面保護工の追加）



付替県道杓子沢6工区工事

【コスト増加内容】

付替県道杓子沢6工区工事周辺の地質は中・古生層の頁岩で想定以上に風化が進んでおり、破片状や、強風化状（土砂から粘土）を呈し、湧水の作用も相まって脆弱であることから、補強土壁等の施工中の安全対策のため、モルタル吹付を行い、切土面の安定化を図った。

【コスト増加の要因】

法面保護工の追加

【増加額】 約6百万円 対象費目 [用地費及補償費：補償工事費]

6 . 平成 2 5 年度予算

•平成 2 5 年度予算については、平成 2 5 年 1 月 2 9 日に政府予算案が公表され、思川開発事業については 1 4 . 7 2 億円が計上されている。

•思川開発事業は検証対象であり、引き続き「新たな段階に入らない」ことを基本としつつ、早期の対応方針決定を目指すとともに、地域の意向を踏まえつつ、生活再建事業等を着実に進めるために必要な予算が計上されている。